

2024年

3.24(日)



9.23(月)

青谷かみじち史跡公園
重要文化財棟企画展示室

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
3月24日のみ午前10時30分頃から入園開始

休園日 毎月第4月曜日
(祝日休日の場合は翌日が休園日)
3月は休園日なし

入館料 (重要文化財展示室共通)
個人 200円/団体 150円
こども、学生は無料
(大学生、大学院生は学生証の提示が必要)
開園日の3月24日のみ入館無料

—その
実像
をさぐる—

青谷弥生人



高杯 (木製品)



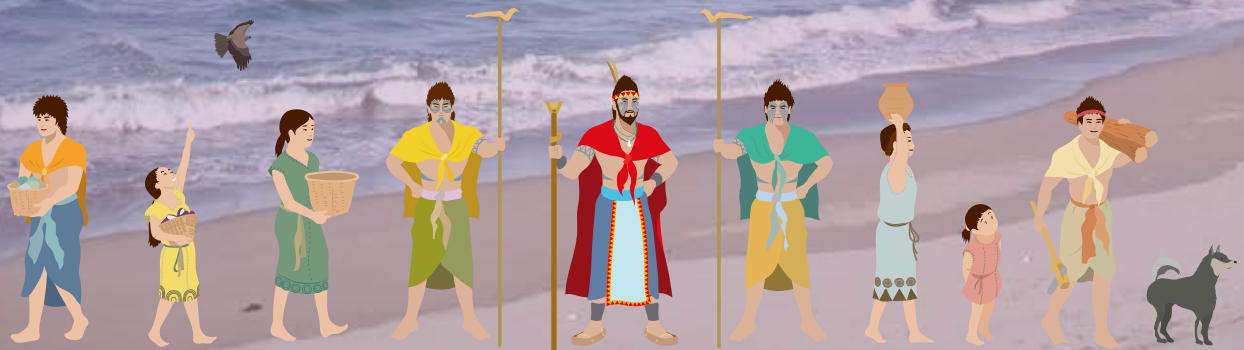
漆塗の壺と蓋 (木製品)
(展示期間：6月10日～9月23日)



壺と蓋 (木製品)



器台 (土器)



青谷上寺地遺跡から出土した弥生時代の人骨。100体を超える人の骨が散乱する衝撃的な発見。魏志倭人伝に記された「倭国乱」を彷彿とさせる傷痕。DNAの研究が解き明かす倭人の真実。青谷上寺地遺跡出土人骨は弥生時代の人びとや社会を解明する上で貴重な資料として注目されています。本企画展では、最新の調査研究成果の紹介を通じて、「青谷弥生人」の実像に迫ります。

展示構成



発見！青谷弥生人

発掘調査で見つかった5,300点もの人骨について、出土状況を実際の1/2の大きさに床に表現します。



人骨から何が分かるか

性別、身長、病気の痕跡など、骨の形から分かる情報やDNA分析など最新の調査研究成果を整理してお伝えします。頭蓋内に残存した脳のレプリカも展示します。



人骨の時を探る

人骨はいつ埋まったのか？人骨群の歴史的評価に不可欠な「時」について、考古学、自然科学の両面から迫ります。



人骨群の謎

これまでの考古学、人類学等の調査研究成果を踏まえて、人骨群の意義について考えます。



弥生人の姿

弥生人はどのような出で立ちであったのか…限られた資料からその生き活きとした姿に迫ります。



よみがえり 甦る青谷弥生人

骨に残る情報をもとに生前の顔を復元。最新の科学を駆使した複顔の技術を解説します。



令和5年度発掘調査速報

100体以上の人骨が出土した溝の延長部に位置し、令和5年度に300点以上の人骨が出土した発掘調査について、その成果を公開します。

特別展示

弥生人の姿が描かれた絵画土器

展示期間 3月24日(日)～6月9日(日)



船に乗る弥生人の姿や建物が描かれた大型の土器(県指定文化財、米子市稲吉角田遺跡出土)を期間限定で特別展示します。

資料所蔵：米子市上淀白風の丘展示館

アクセス ● 青谷ICから車で5分 ● JR青谷駅から徒歩で15分

